

## ■v1.40の主な変更項目

- ・ .NET Framework 4.5 ~ 4.7.2 動作環境下にて、TLS通信の初期化処理を行う際にエラーが発生する不具合に対応

修正対象プログラム

- RemoteSignature(.NET)
- RemoteSignatureClientService (参照DLL更新のため)
- サンプルプログラム (参照DLL更新のため)
- ・ クライアントアダプタサービスのトークンエンドポイントでのエラーをログ出力するよう修正

## ■v1.30の主な変更項目

- ・ 参照処方箋なしの調剤情報証明書に対応 [リモート署名APIサービス, リモート署名ライブラリ(.NET, JAVA)]
- ・ 処方箋情報XML, 調剤済情報XMLのシリアルライズ時にXML宣言が出力されない場合がある問題への対応 [リモート署名ライブラリ(.NET, JAVA)]

## ■v1.21の主な変更項目

- ・ リモート署名クライアントアダプタサービス (Windows10 32bit版) のログ関連の修正

## ■v1.20の主な変更項目

- ・ Windows10 32bit版向けモジュール提供 [リモート署名クライアントアダプタサービス, リモート署名APIサービス]
- ・ クライアント証明書の取り出しのロジックをOSからBouncy Castleライブラリを利用するように変更 [リモート署名ライブラリ(.NET, JAVA)]

※Windows10 1701バージョンより前にてクライアント証明書の解凍ができない問題に対処

- ・ トークン取得に関するタイムアウト値を30秒に統一 [リモート署名

名クライアントアダプタサービス, リモート署名APIサービス, リモート署名ライブラリ(.NET, JAVA)]

※クライアントアダプタサービスにてネットワーク環境が悪いとタイムアウトエラーが発生してしまう問題に対処

## ■v1.10の主な変更項目

- ・プロキシサーバに対応し施設端末からの直接インターネットやオンライン請求ネットワークにつながらない環境での利用を可能にしました。

- ・同一端末・同一OSユーザの複数人共用利用時に、HPKIカード認証後にブラウザを閉じないと前回ログイン時の情報を引き継いでしまう現象が発生していました。

ブラウザの起動の引数にてプロファイル毎にフォルダを指定することで回避する方法を記載しています。※詳しくはサンプルプログラム参照のこと

- ・リモート署名クライアントアダプタサービスにて利用しているライブラリがサポート終了がアナウンスがあったため、同等機能を持つ類似ライブラリに変更を行いました。

- ・リモート署名クライアントアダプタサービスのリダイレクトを受け付けているURLをパラメータを利用しないように調整した。※セキュリティのため